

第 30 回生物化学的測定研究会学術シンポジウム

「生分解性プラスチック」

近年、プラスチックごみによる環境問題は世界的に大きな課題となっております。その中で、生分解性プラスチックは持続可能な社会の実現に向けて、大きな期待が寄せられている素材です。

本シンポジウムでは、生分解性プラスチックの基礎研究から実用化、分析方法さらには環境影響評価まで、幅広い視点からご講演を頂きます。産学官の研究者の皆様が、知見を共有し、次の国際標準化へとつなげていく場となることを願っております。

- 期日：令和 7 年 11 月 10 日（月） 13:00～16:15（受付 12:30～）
- 会場：愛媛大学 農学部（樽味キャンパス） 会場（アクティブラーニングルーム 1（72 名収容））大学生協の 2 階になります。
- オーガナイザー：鑑迫典久（国立大学法人愛媛大学 農学部・大学院農学研究科 生物環境学専攻環境保全学コース 環境計測学研究室 教授）
- プログラム

13:00-13:05 開会の挨拶 鑑迫典久

座長 太田邦史

13:05-13:45 講演 1 「生分解性プラスチックの今後の展開と国際標準化」
国岡 正雄（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 研究戦略本部 知財・標準化推進部 標準化推進室 標準化オフィサー ISO/TC61/SC14/WG2 コンビーナー）

13:50-14:30 講演 2 「生分解性プラスチックの生分解度評価法」
菊地 貴子（CERI／一般財団法人化学物質評価研究機構 東京事業所 高分子技術部）

14:30-14:45 休憩

座長 三宅司郎

14:45-15:25 講演 3 「構造タンパク質素材の実用化に向けた取り組み」
村田真也（一般社団法人構造タンパク質素材産業推進協会（SPIA））

- 15:30-16:10 講演4「生分解プラスチックの環境影響評価」
鑑迫典久（国立大学法人愛媛大学 農学部・大学院農学研究科 生物環境学専攻
環境保全学コース 環境計測学研究室 教授）
- 16:10-16:15 閉会のあいさつ 太田邦史
- 17:30-20:00 交流会（参加希望者のみ、会場近郊にて開催予定）

■参加形式：対面とオンラインによるハイブリッド形式

■参加費：現地参加 会員：3,000 円、非会員：5,000 円、学生：無料

オンライン参加：会員種別に関わらず無料

交流会：5,000 円（予定）

■現地参加費および交流会費支払方法：当日受付支払い

■要旨集：ホームページに掲載予定（要パスワード）。パスワードは参加申し込み者に事前にお知らせします。

■参加申込方法

下記 URL または QR コードより 11 月 4 日(火)までにお申込みください。

申込 URL： <https://forms.office.com/r/BGg8KKpyfq>

QR コード



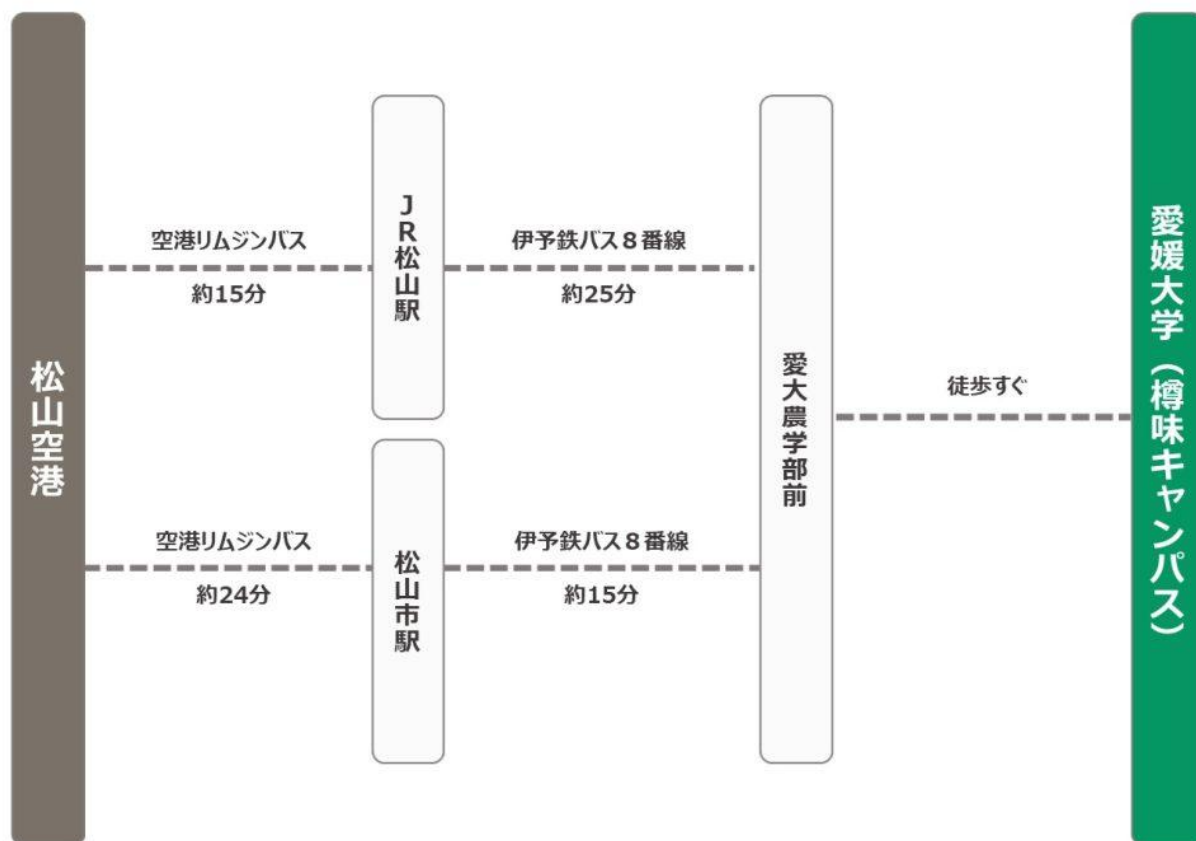
(上記よりお申し込みが出来ない場合は、事務局へメールにてご一報ください)。

オンライン参加申し込みの方には視聴アドレスおよび要旨集パスワードを 11 月 7 日（金）までにメールにてお送りいたします。

■会場案内：国立大学法人愛媛大学 農学部（樽味キャンパス） アクティブラーニングルーム1（大学生協の2階）

【住所】〒790-8566 愛媛県松山市樽味3-5-7

【交通アクセス】



問合先：生物化学的測定研究会事務局（担当：油谷）

〒230-8504 神奈川県横浜市鶴見区下末吉 2-1-1

株式会社森永生科学研究所内

学術シンポジウムに関するお問い合わせ E-mail： basj_admin@basi.info

その他、研究会に関する事務局へのお問い合わせ E-mail： basj@morinaga.co.jp

HP: <https://www.basj.info>